

郷土に親しむ



▲白山ふれあいの森



▲仁所野遺跡で出土した土器を覗き込む園児

西保育園

1 / 18
木

西保育園から近い白山ふれあいの森は、園児たちのお散歩コースになっています。そこには仁所野遺跡という弥生時代から古墳時代につくられた墳墓群があります。

同園では郷土を愛する心を育む活動として、全園児が大町歴史民俗資料館学芸員の西松さんから講義を受け現地へ出向き、白山ふれあいの森にある「ふるいおはか」について説明を受けました。

子どもたちは、昔、西保育園の周りに住んでいた人々の話に興味津々でした。



第11回 おおぐち合唱祭

町民会館

2 / 4
日



第11回「おおぐち合唱祭」が町民会館ホールで開催されました。

町内外から7団体が参加し、ポピュラー音楽や童謡など幅広いジャンルの合唱曲を美しいハーモニーで披露しました。

観客は心に響く歌声に魅了され、各合唱団に大きな拍手を送っていました。

まちづくり座談会（南地域）

ほほえみプラザ

1 / 20
土

年々人口が増え、企業も多い大町ですが、この先も元気なまちであり続けるためには、どうすればいいかを考える「まちづくり座談会」がおこなわれています。

パート1では、全国的に課題の少子高齢化や団塊世代が後期高齢者となる2025年問題に対処するため、地域でお互いに助け合う仕組みが必要ということで、参加者同士「できること、感じたこと」を話し合いました。パート2では、具体的にこれからの地域づくりについて話し合われます。



餅つきで子ども会と交流会 大口町 NPO 団体 矢戸川をきれいにする会

替地地区で活動をしている矢戸川をきれいにする会(現在会員40名)は、替地子ども会と恒例の餅つき大会をおこないました。

同会は、毎年子ども会と一緒に田植え、稲刈り、脱穀体験をして世代間交流をおこなっています。この日は約50名の子どもたちと、地域の天神社神殿で絵馬に学業成就、交通安全を祈願、ご祈禱し奉納したあと、収穫した餅米で餅つきをしました。

1 / 14
日



福祉の集い「認知症にならないために」

北地域自治組織

ほほえみプラザで「認知症にならないためにどうしたら良いか!」をテーマに福祉の集いが開催されました。144名が参加し、認知症予防に大切な脳の活性化、食生活、運動習慣について学んだほか、認知機能アプリに効果的な体操の実践や、エレクトーン伴奏のせて歌をうたうなど、みんなで楽しい時間を過ごしました。参加者からは、「ここに集うことが認知症予防。また開催してほしい!」との声も聞かれました。

1 / 27
土



憩いの四季まつり&図書館まつり

老人福祉センター

憩いの四季と図書館では、日頃の感謝をこめて、憩いの四季まつり&図書館まつりを開催しました。

1階憩いの四季では、子どもから大人まで楽しめる講座やうたごえ喫茶、バルーンアート、名古屋経済大学「いろは」による劇などが催され、3階の図書館では「しかけ絵本」や「本の中のパンが本物に!」の展示コーナーなど訪れる人の関心を集めていました。

2 / 3・4
土 日

